
前人未踏男

エンサヤ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

前人未踏男

【Nコード】

N6412A

【作者名】

エンサヤ

【あらすじ】

日本人の沢村が無謀にもヘビー級に挑む、しかもタイトル戦に果たしてどうなる前人未踏は？沢村は？

1話

アメリカ

ギャンブルの街ラスベガス

ここは世界中から夢を見に多くの人が訪れている。

そのギャンブルの次に賑わうスポーツドームがすぐ横にあった。ドーム内

今日は黒人の多いボクシングヘビー級三回戦なのに、何故か選手控室の1つに「沢村」と書いてあり、無防備に戸が開いていた。

その部屋にアジア人らしき男がデカデカとベンチせましと寝そべっていた。

その時、部屋の外から「コラー！大介いつまで寝てんだあ、起きやがれ！」とハスキーだが、まるでアイドルのような可愛い少女が来るなり怒鳴る。

そして起きない男の真横に来て、か弱いパンチャキックを浴びせ出した。

しかし男は相変わらず起きなかった。

そして少女は「はあくまたアレやるのかよ」と頭を抱えこんでいた、

2話 出陣

少女は男の耳に息を吹きかけると男は

「ああ”くん」とモダエて目覚めた後に、少女を見つめて

「さおりん」

「な？誰が、さおりんだあ！

しかも相変わらずキモい悶え方しやがってよ」

「サオリも女だな」

「はあ？勝手にやらせといて何が言いてんだよオマエは！」

「その男マサリなところも好きなんだぜ」

「な？そんなことより時間だろアップしとけよ」と顔を赤らめてサオリが言うつと、仕方なさそうに重い腰をあげた。

ウォームアップのシャドーボクシングを始めて10分くらい過ぎて、サオリが赤いグローブ装着の手助けを始めた。そしてガウンを羽織ってフードを被ると、まるで阿修羅の冷血そうな別人の顔に成った。

沢村は

「さおり」

「さおり」

沢村をなだめるように「大丈夫だぞ」

「勝ったら」

「わかってるよ」

サオリの返事に安心したのか、沢村は微笑んだ。

そのあと、開いてるドアから覗き見するように部屋の前に警備員が待っていた。沢村は警備員に目を合わすと、相槌を打った。

そして部屋を出て、警備員に誘導され薄暗い廊下を歩きスタジアムに向かつていき、ドアを警備員に開けられて進むと大歓声に溢れた。沢村はビビりも見せずにシャドーしながらサオリと共に暗いリングに向かう。

そしてリングの前で立ち止まりフードを脱いで上を見あげて深く大きな呼吸をしてから、まるで悪だくむように口角があがり阿修羅像の仮面をつけたように笑みを浮かべた。

そして横のサオリを見て

「サオリ何を赤くなってるんだよ！」

セコンドトレーナーが緊張してどうすんだよ」

なだめるが思ったよりガチガチに成っていたので見かねてか

「よっと！」沢村は軽々とサオリをお嬢様抱っこしてリングに運んだ。

そして英語でのチャンピオン紹介があったとたんに「ワーワーウア
ー！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6412a/>

前人未踏男

2010年10月28日07時14分発行